

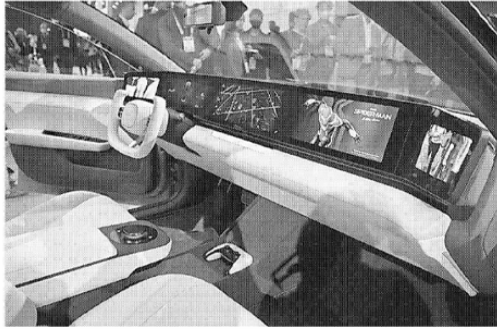


年 組 名前

道新で
ワークシート

米で家電IT見本市開幕

スパイダーマン仕様に設定されたソニー・ホンダモビリティのアフィーラ車内。5日、米ネバダ州ラスベガス（共同）



【ラスベガス共同】世界最大級の家電IT見本市「CES」が5日、米ラスベガスで開幕した。ソニーとホンダの共同出資会社ソニー・ホンダモビリティが出展した電気自動車（EV）が注目を浴びたほか、デジタル技術や仮想現実（VR）の展示も話題を呼んだ。3200超の企業・団体が出展し、新型コロナウイルスの影響を受けた前年と比べて約4割増えた。

注目は「EV」「仮想現実」

世界最大級 3200超の出展

CESで注目された
展示や発表

ソニー・ホンダモビリティ	新電気自動車（EV）ブランド「AFEELA（アフィーラ）」の試作車
BMW（ドイツ）	車体の色を自由に換えられるコンセプトカー
フランスウィック（米国）	電動の小型モーターボート
キャノン	VR（仮想現実）端末とスマートフォンを使った対話アプリ「Kokomo（ココモ）」
LG電子（韓国）	ワイヤレスの大型有機ELテレビ

ソニー・ホンダモビリティが発表した新EVブランド「AFEELA（アフィーラ）」の試作車を一目見ようと、大勢の来場者が押しかけた。車内で音楽やゲームなどを幅広く楽しめるのが売りだ。

取材に応じたソニー・ホンダモビリティの水野泰秀会長は、車内のエンターテインメントを充実させるために他社との協業を進めると述べ、有力な相手とは資本提携も検討すると表明した。拡張現実（AR）の実装も目指す。

ドイツのBMWは車体の色を自由に変えられる試作車を展示した。中国の新興メーカーは大型の電動バイクを出展し、米レジャー用品大手のフランスウィックは電動船舶を発表した。キャノンはVR端末とスマートフォンを使うことで、仮想空間内に利用者の映像を再現して遠隔地で対話できるアプリ「Kokomo（ココモ）」を披露した。今年2月から米国とカナダで配信する。韓国LG電子は、ワイヤレスの大型有機ELテレビを紹介した。

今回のCESは新型コロナウイルスによる大きな規制はなく、主催者は前年の2倍超となる約10万人の来場を見込む。

2023年1月7日（土）朝刊 全道版 8ページ（記事は再編集しています）

- ① 自動車を生産しているホンダは、どの会社と共同出資会社を作っていますか。
- ② 自動車の見本市ではなく、家電ITの見本市に自動車を出品したのはなぜだと思いますか。